



教科名： 法定2年点検・車検Ⅱ

2025年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 2年 後期

科目： 自動車整備作業

時限数： 32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY24	シラバスメンテナンス	3/22	合田
FY25			
FY26			
FY27			
FY28			
FY29			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科		2025年度		授業計画			
時 期	2 年後期	単元	実習	教科名	法定 2 年点検・車検Ⅱ		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書		発行日	2024年3月22日	
			日産 3 級整備士テキスト				
※ 注1 総時限	32時限		2 級自動車シャシ		教科担当	宮下 拓也	※ 注2 ● ■
※ 注1 授業時間	51.2時間		法令 J I G A K U 教科書				※ 注2 ● ■
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1944時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））							
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当							
自動車整備士として法定点検車検の実務経験がある教員により、法定 2 年・1 年点検の点検項目を明確化でき、整備結果説明もできるよう指導する。							
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）							
1. 法定 2 年点検の点検項目を習熟。							
2. 整備結果説明スキルの習得。							
3. 法定 2 年点検と法定 1 年点検の点検項目を明確にて、法令問題の底上げを行う。							
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）							
1. 点検項目を見れば、該当する箇所を理解し点検ができる。							
2. 評価シート(別紙)に則った整備結果説明ができる。							
3. 法定 1 年点検項目と法定 2 年点検項目の区別ができる。							
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）							
実習評価点は、技術評価点（70点）＋レポート評価点（15点）＋取組評価点（15点）とし、60点以上（工学科は70点以上）を合格とする							
技術評価点							
・実技試験 80％ ①整備結果説明ロープレ							
②法定 2 年点検実技試験							
・筆記試験 20％ ①点検項目を区別する問題							
5. 準備学習							
1. 二年次のC巡で行った法定 1 年点検・車検の内容を復習・定期点検作業要領書をあらかじめ読んでおくこと。							
2. 授業終了後、教員から指示された教科書・資料の項目を復習しておくこと。							
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す							
※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者							
6. 指導目標							
1. 法定 2 年点検の点検項目の習熟し、確実にスピーディーな作業ができるようにさせる。							
2. 整備結果説明の習熟し、正確に分かりやすく説明ができるようにさせる。							
3. 自家用乗用車等の点検基準において、1 年毎・2 年毎の項目を区別できるようにさせる。							

2025年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科

2025年度

授業計画

時 期	後期	単元	実習	教科名	法定 2 年点検・車検 II
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	エンジン始動時	始動時必ず声掛けを行う。 AT車のためにPでの始動を行う。		指をベルトに巻き込んだりしないように全員で 気をつける。	
2	リフト操作	上げ下げの声掛けを行う。			
3	灯火点検	AT車のためバックランプ点検後Pにもどす。			

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

第2実習場



※車両はB 1 7シルフィーを5台使用する。

実習車両1台当たり4～5名（5グループ）で実習を行う。